

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年2月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2871300451		
法人名	特別医療法人敬愛会		
事業所名	ひかみシルバーホーム		
所在地	丹波市氷上町絹山1 電話 0795-80-2777		
評価機関名	兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-8		
訪問調査日	平成19年12月13日	評価確定日	平成20年2月12日

【情報提供票より】(平成19年11月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 6月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤7人, 非常勤	2人, 常勤換算8.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	46,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費15,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有() 円 (無)		有りの場合償却の有無 有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(11月30日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.1歳	最低	78歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大塚病院
---------	------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

敬愛会が経営する1ユニット9人のグループホームである。併設病院として大塚病院があり、24時間体制の医療支援を受けることができる。少人数で利用者とホームのベテラン職員との共同生活を行いながら、地域との共生を図るべくグループホーム独自の特徴を出そうと日々努力をしている。常に地域に根ざしたホームのあり方を考えており、地元の自治会や老人会の行事には積極的に参加をしている。近隣の保育園や小学校との交流も行っている。今後は、食事や入浴等利用者の好みや生活習慣をより反映できる取り組みや、外出機会を増やす取り組みが期待される。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 経営者の方針として、食事については食中毒を防止する必要があることから、併設の大塚病院の管理栄養士の献立と、病院で調理した食事が提供されており、グループホームの基本的な考え方はまだ乖離がある。その中でも、食器をプラスチックから陶器製に変更していることや御飯と味噌汁はホーム内で作るようになってきている。また、外出の機会を増やしたりしている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 前回の改善項目を真摯に受け止め、管理者と職員が検討をしながら改善に向けた取り組みを行っている。4月から管理者が代わったこともあり、グループホームとしての取り組みを職員と共に話し合いを持ちサービスの質の改善に向けた取り組みを行っており、今後の実践が期待される。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 運営推進会議は、市の介護保険課長と市の相談員を始め地元からは区長、近隣の施設からは大塚病院の代表者、ホームからは家族会の代表と職員が参加をして3ヵ月に1回定期的に行われている。具体的な取り組みや課題は今のところ提示されていないが、グループホームの質の向上に向けた話し合いが行われている。今後は2ヶ月に1度の頻度で開催していくことが望まれる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 現状では家族からの苦情や要望は提案されていない。家族会を1年に1回開催しておりほとんどの利用者・家族一同に集まる機会を設けている。その際を利用し、家族の方と久しく話をする中で不満や要望が無いが聞くようにしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 自治会・老人会にも参加をしており、日常の情報交換を欠かさないようにしている。近隣には保育園があり機会がある度に交流を行っている。小学校からの訪問もあり玄関には訪問のお礼状や、利用者への心配りの言葉が書かれた手紙が貼ってある。朝市への参加や地元の文化祭にも参加しており、地域の方々との交流の機会を多く持つようにしている。</p>

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念を作り、玄関とリビングに大きく分かりやすく掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を基本として毎日の取り組みの中で実践をしている。また、理念に基づいたサービスが提供できるように、どのような理念が良いか管理者と職員が話し合いを持ち、理念の変更を検討している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会、老人会にも加入しており地域との交流の機会を多く持つようにしてる。近隣の保育園とも交流を行っており利用者は子供たちから元気をもらっている。玄関には訪問した児童のお礼の手紙も貼ってある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は昨年の評価を十分に認識した上で改善に向けて取り組みを行っている。食事のことや外出の機会を多く持つ等改善されている事例も確認できた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市の介護保険課長、区長、家族代表、大塚病院職員、ホーム代表に加え、市の相談員もメンバーとなり3ヶ月に1回のペースで開催している。サービス向上に関係する意見についてはすぐに反映を行っている。</p>		<p>3ヶ月に1回定期的に熱心で開催しているが、基準では2ヶ月に1回以上と定義されているので、今後の開催については検討が望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>機会がある毎に市に足を運び、市の担当者から最新の情報を得るようにしている。サービスの向上に関する内容があれば実践する用意がある。</p>		
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1ヶ月に1回は会計報告を送付しており、2カ月に1回は広報誌を同封して連絡をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現状では家族からの苦情や要望は提案されていない。家族会を1年に1回開催しておりほとんどの利用者・家族一同に集まる機会を設けている。その際を利用し、家族の方と久しく話をする中で不満や要望が無いか聞くようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限になるように努力をしている。併設の施設職員との入れ代わりはあるが、利用者が慣れるように時間をかけて交代している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	併設の病院内研修の回数は多く、ホーム内では伝達研修を義務付けており、職員の意識は高い。外部研修の機会も設けられており、研修記録は法人の定めに応じた方法で保管されており、研修内容の確認がすぐにできるようになっている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	近隣に同業者が少ないこともあり交流の機会が少ない。		市内の同業者にこだわる事無く、近隣市や県域等の地域での同業者と情報交換できる様なネットワーク作りが望まれる。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	体験入居もできる体制にあり、可能な限り慣れた状態で入居することができるように家族とも相談をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	若い職員もあり、利用者を確認をしながら一緒におかずの盛り付けやおやつ作りを行っている。職員は人生の大先輩だと思い接している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>管理者や職員は、毎日の生活の会話の中で利用者の望んでいることを確認することを大事にしている。実現可能な要望については直ぐにでも行う。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者・家族の意向を確認しながら職員全員で検討し、その方に合った計画をたてている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヵ月に1回モニタリングを行い、必要と思われる方には介護計画の見直しを行って。急変等の変化があった場合はその都度計画を変更するようにしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>大塚病院と契約して医療連携体制をとっており、医療面での日常的な支援を得られるようにしている。また空き居室があればショートステイを受け入れることも考えている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	主に併設の、大塚病院の院長が主治医となっており、緊急時でも適切な医療を受けることができる。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	家族全員がターミナルまで利用することを望んでおり、必要に応じた話し合いをしている。ターミナルケアの経験もあり、重度化してもホームを在宅としての考えで対応する用意がある。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は、利用者に合った声の大きさや目線で話をしており好感が持てる。個人記録は職員室に一箇所に集め保管している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	その日、その日で利用者の希望を聞き散歩や買い物等できることを優先に支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	御飯を炊くことや味噌汁、畑で収穫した野菜があれば副食の一部はホーム内で作っている。調理も月に1回行ったり、おやつ作りは利用者を中心に毎日行っているが、ほとんどの食事は併設の病院で調理されたものが運ばれてくる。利用者は主に配膳を行っている。		併設の病院で調理されたものを提供することは食中毒のことも考えた事業所の方針ではあるが、選んで食材を購入したり、自分たちで最後まで作る楽しみをもてる機会を作る取り組みも望まれる。
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	入浴は、月・水・金の13時からと決まっており、利用者の希望やタイミングに合わせているとは云えない。		夜間の入浴を含め、何時でも希望の時間や生活のリズムにあわせた入浴となるよう方法の検討が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	庭掃除・食事の配膳・トイレ掃除等毎日の生活の中での役割を利用者のできる範囲で分担し、表に纏めてリビングに貼り出している。利用者は自分に役割があると考えて作業をしている。		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	毎週1回は地神さんにお参りに行くことを習慣にしており、希望に応じて買い物等の外出を行っている。ホームに入る以前から通っている美容院へ出かけたり、なじみの化粧品店へ出かける支援も行っている。		ホームが占有できる車が無く、いつでも好きな時に出て行きたいという利用所の希望にそえるとはいいいがたい。気軽に出て行ける場所への外出の検討が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	居室には鍵は無く、玄関・勝手口も日中は鍵をかけていない。夜間は安全上のこともあり施錠を行っている。施錠時間は季節によって変えている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	定期的に併設の病院を含めて訓練を行っている。また、地元の消防団にも見学をもらい、日頃からホームの構造を理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	病院の管理栄養士により食事のカロリーチェックを行っており、チェック表には食事量・水分量を記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	12月はクリスマスツリーなど、飾りを変えて季節感を出している。また、金魚を飼ったりして癒しの空間も作っている。共有の畳の部屋にはホームコタツが設置されている。要所には椅子が置いてあり、利用者は休憩したりなど重宝している。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	持込の制限は無く、利用者は好みの持ち物を居室に持ち込んでいる。仏壇や位牌の持ち込みもあり、落ち着いた居室となるようにしている。		照明やエアコンの電源スイッチが高い位置に設置されている。利用者が自由に触れやすい位置に設置することが望まれる。

 は、重点項目。